

# しろね図書館だより

No.139

~ Since 2000 ~

発行 新潟市立白根図書館

新潟市南区田中383 電話 (025) 372-5510

平成23年12月発行



今年も残すところあとわずか。さまざまなことがあった1年でした。クリスマスや年末年始は、ご家族や大切な人の幸せや喜ぶ顔を思い、心あたたかにお過ごしください。しろね図書館からは「本を読む喜び」をプレゼント。展示架の本や「クリスマスおはなし大会」をお楽しみください。

## 今月の展示架



### 贈り物

心をこめて  
あなたへ



## クリスマス おはなし大会

12月24日(土)

しろね図書館 おはなしのへや

- 1回目 10時15分 乳幼児と保護者
- 2回目 10時30分 乳幼児と保護者
- 3回目 11時00分 幼児～ (整理券必要)
- 4回目 11時30分 幼児～ (整理券必要)

整理券は当日の10時50分から図書館カウンターで配ります。

1回に30人入れます。

親子2人なら2枚必要です。



## 11/5 絵本にてくるおやつ作り わくわくスタンプラリー

絵本にてくるおやつ作り、今年はダヤンのプチパイに挑戦。スタンプラリーでは、しおり作りや読み聞かせを楽しみました。図書館クイズも一生懸命考えましたね。ご参加ありがとうございました。スタンプラリーのプレゼントは特製メモ帳。おうちの方には、しろね図書館友の会からカラフルな手編みの小物のプレゼントもあり、たいへん喜ばれました。

## しろね図書館 読書週間事業報告



## 11/13 近藤信子さんの 「わらべうた」講演会

♪こんにちは♪  
♪こんにちは♪

近藤さんの軽やかなよびかけに惹きこまれ、会はスタートしました。子どもたちはもちろん、大人も思いっきり体を動かして遊びました。みんな、汗びっしょり！笑顔があふれました。

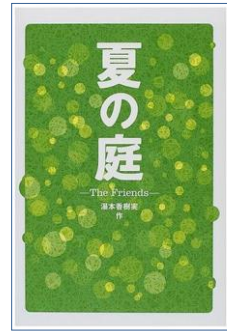
平成23年11月20日(日) 午後2時

# 夏の庭

【参加者】4名

湯本 香樹実作

(徳間書店)



## ★★★ 参加者の感想から ★★★

◆2か所いいと思えた箇所があった。

「知りたいことがあるなら、知る努力をするべきだ」「死んでもいい、と思えるほどの何かを、いつかぼくはできるのだろうか。たとえやりとげることではできなくても、そんな何かを見つけたとほくは思った。そうでなくちゃ、なんのために生きてるんだ」作者は子どもの心理をよく理解して書いている。女性の書いた細やかな表現に感心した。いつも小説に自分を重ねて読むのだが、とても共感できる作品だった。

◆主人公の夢に出てくるおばけのエピソードなど、心理学的な描写を散りばめながら描いているので、さすがプロの文章だと感じた。

◆作者のプロフィールに寺山修司に師事と書いてある。相当鍛えられたのではないだろうか？

◆映画「スタンド・バイ・ミー」を思い出した。「スタンド・バイ・ミー」と「西の魔女が死んだ」を足して2で割ったような感じと言うか、「西の魔女が死んだ」のボーイズ版と言うか、そんな感じ。

◆「死」というよく分からない物への恐怖がよく描かれていると思った。

◆「あの世に知り合いがいるんだ」というセリフと、夜中にトイレにひとりで行けるようになったというエピソードから、死について理解して、死を怖くないと思うようになって乗り越えのだろう。

◆この夏の経験によって少年3人が少年から男になったと感じた。

◆老人は子どもと交流をするようになって、生きる力を取り戻し、世界とも繋がり始めたようだった。

◆この本と出会えてよかった。それこそ少年の頃に出会いたい本だ。

◆この小説を色で例えようという黄色。ユーモアとレモングラス的な香りのイメージが湧いてきた。

◆小説に出てくる2つの怖い話が印象的だった。

◆老人がどんな人生を送ってきたのが、すごく興味があった。

◆少年たちがみんな家庭でそれなりの問題を抱えているのだが、どれもあまり詳しくは書かれていないので、ちよつと気になった。

◆最後、少年たちがそれぞれ自分の道を見つけ、別れてひとり歩いて行く所がいい終わり方だと思った。

◆老人が少年たちに残していた物は大きい。主人公は「もしおじいさんだったら」と考えて、答えを出すようになった。きつとこれからも色々な事が起こるだろうけど、きつと乗り越えて行けるだろう。

◆3人はおじいさんから生活の色んな知恵を学ぶ。少年たちは皆おじいさん、おばあさんと暮らしていないようで、なんだか寂しいなあと感じた。

◆映画にしたらおもしろいと思ったが、もう映画化されている。1994年に。でもDVDになっていないので、見るのも難しそうだ。残念。

◆老人が火花を上げるところが面白かった。でも、火薬を持って、電車に乗っていたんだと思うと、怖い。

◆老人とエキセントリックな河辺のやり取りがいい。憎まれ口を言い合うと、脳が活性化するのではないかなと思ってしまった。

◆あとがきの作者のおじいちゃんのエピソードも良かった。

(齋藤)

読書会は、みんなで同じ本を読んで、思ったことをおしゃべりする楽しい集まりです。

## 次回の読書会

12月18日(日) 14:00~



## この長屋、ただものじゃない!

ルーム2



人助けが生き甲斐のお人好し・加助がたどり着いた「善人長屋」。温厚篤実で気持ちのいい善人ばかりが住むという評判とは裏腹に、実は差配も店子も裏稼業の凄腕、その世界では一目置かれた悪党揃い。そうとは知らずに加助が持ち込む厄介ごとで、次から次へ大騒動。長屋の悪党たちが悪を討つ!

## 善人長屋

西條奈加/著 新潮社

# 『グロースターの仕たて屋』

ピアトリクス・ポターさく・え  
いしいももこ やく

福音館書店



ひとびとが まだ、剣や かつらや、えりに花かざりある ながい上着を 身につけたころ (略)  
グロースターの町に、ひとりの仕たて屋が すんでいた。(略)

クリスマスまえの さむさのきびしい日、仕たて屋は 1まいの上着をつくりはじめた。きれはうね織りの ベにいろのきぬで、パンジーと ぼらのししゅうが してあった。チョッキは ピンクのサテンで紗と みどりのモールの糸で かざられていた。これは グロースターの市長どこの ふくだった。(本文から)

そして、仕たて屋は、布を裁ち裏地やぼたんや絹の穴糸など、明日の朝すぐに仕事を始められるように、必要なものを仕事場にそろえて家に帰ります。あとは、

「ただ、ベにいろのあな糸があとひとかせあれば、それでよかった」

貧しく、疲れていた仕たて屋は、ねこのシンプキンに最後の4ペンスを渡して、パンとミルクとソーセージとあな糸をひとかせ買いに行かせました。仕たて屋は、一人で留守番しているときに、シンプキンが捕まえていたねずみをすべて逃がします。帰ってきたシンプキンは、それを知って買って来たあな糸をどびんにかくしてしまいます。その後、仕たて屋は、熱を出して3日間寝こんでしまいますが、25日グロースター市長の婚礼の日の朝、仕たて屋が仕事場にいとってみると・・・

『グロースターの仕たて屋』は、1903年に出版されました。このお話は、作者が聞いた実話をもとに作られました。『ピーター・ラビットのおはなし』に続く、ポターの2作目の作品で、ポターが一番気に入っていた作品です。おとぎ話が好きな病気の子フリーダにささげられました。

ポターが住んでいたヒルトップ農場は、ナショナルトラストが管理していて、今でも自然豊かな美しい風景が、絵本に描かれた当時のまま残されています。英国テート美術館で「あな糸がたりぬ」の原画をみたときには、まるで本物の生地のように、びっくりしました。

耳に心地よい文章で、絵もすばらしいです。幼い子どもたちはもとより、おとなの方にもおすすめします。



子どもたちといっしょに

# さむがりやのサンタ

12月24日、クリスマス・イヴ。

サンタはどうやってプレゼントを配るのでしょうか？

この絵本は12月24日のサンタの様子が描かれています。

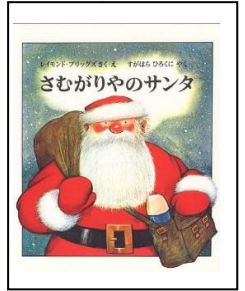
「スノーマン」でおなじみのレイモンド・ブリッグズの作品ですが、ちょっと気難しいサンタが主人公です。

サンタが世界のどこかで朝起きてから、一番最後に朝を迎える国に行くまで丁寧に描かれています。

このサンタは寒がりだし、雪も嫌いだし一年に一度の大仕事に毒づいてばかりいます。でも、トナカイや、同居人の犬や猫に見せる優しさは、読んでいてクスッと笑って、温かい気持ちになります。家具や食器など細部まで描きこまれていて、大人も子どもも読んでいて楽しい1冊です。

サンタが無事、自分の家に帰った時は思わず「お疲れ様」と言いたくなります。

(石田)



レイモンド・ブリッグズ 文  
すがはら ひろくに やく  
福音館書店

## お知らせ

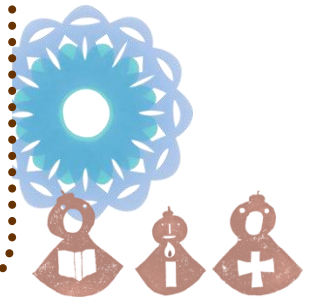
### 福島県の新聞が読めます



『福島民報』『福島民友』が白根図書館内新聞コーナーで読めるになりました。

避難されている方、福島の情報を知りたい方など、どなたでもご利用ください。

(県外からの配達のため、到着まで数日遅れがございました)



## 1/4 までの行事



おはなしのじかん  
毎週土曜日  
(12/24はありません)

絵本のよみかたり 14:10～  
ストーリーテリング 14:30～

おはなしかご例会  
(読み聞かせボランティア)  
第2・4土曜日

12/10 (ル-41) 10:00～

12月25日(日)

雑誌リサイクル 10:00～

12月18日(日)

読書会(ル-42) 14:00～

12月29日(木)～  
1月4日(水)

年末年始、図書整理日のため休館です

12月24日(土)

クリスマスおはなし大会  
おはなしのへや  
10:15～(詳しくは1面  
をご覧ください)

## 12月のブックバスはお休み

- ★ブックバスは、11/30のあと、冬の間(12,1,2月)は、運休します。3月1日から運行再開です。
- ★ブックバスで借りた本を図書館に返してもOKです。

11月の来館者数…………… 14,121 人